あなたの取組、教えてください。

～所有者不明土地のみならず
空き地、空き家、低未利用土地の
利活用や取得に関する活動紹介～

自治体アセットマネジメント

～滋賀大学×自治体×不動産鑑定士＆測量業～

　現在、我が国の地方自治体において公 有財産のマネジメントは、まちづくり のみならず財政運営上も喫緊の課題と なっています。

滋賀大学が主催するこ の研究会は、公共施設や土地を「もっと活かす」ためのアイデアを自治体職員と専門家で一緒に考える場です。使われなくなった施設の活用や土地管理の工夫を学び、実践的な事例を共有します。

令和7年度は、方針づくりや土地カルテ、国のモデル事業にも挑戦しました。



公共施設、これからどう使う？
用途廃止、用途転換、民間への売却、譲渡、貸付け…可能性は無限大！



空き家、空き地を地域の資源に。
地域活性化の取組

～自治体×不動産鑑定士～



和歌山県を中心に空き家再生と地域活性化に取り組んでいます。国交省の「二地域居住先導的プロジェクト」に採択され、空き家を宿泊施設やコワーキングスペースにリノベーション。

不動産ファンドを活用し、地域住民や企業の出資で資金を調達する仕組みを構築。観光・ワーケーション・移住促進を通じて、沿線地域の魅力を高め、持続可能な地方創生モデルを目指しています。

パークPFI事業や、まちづくり事業にも参加しています。

和歌山市の空家等管理活用支援法人にも指定されました。



潜在的な低未利用地の価値共生。地域活性化の取組

～地域課題×ソリューション技術やビジネスモデル×共創主体×民間研究所～

まちづくりや都市計画の視点から、単なるハード整備ではなく、知の集積交流機能を活用した共創拠点を核に、地域課題解決に結び付く技術や産業、文化やライフスタイルの創出を重視しています。

秋葉原UDXやグランフロント大阪、中之島クロス、健都などのプロジェクトでは、企業、大学、行政、市民が共創するオープンイノベーションの場を都市機能に組み込む仕組みを構築。都市や生活の場を社会実証や実装のフィールド（リビングラボ）と捉え、健康・環境・観光など多様なテーマで持続的なまちづくりを推進しています。

次ページに続く



生駒市高山地区での地域の魅力向上のための住民ワークショップ

（引用：生駒市公式X）

次ページから

たとえば、小学区や街区公園単位の住民自治のモデル構築を目的に、地域の住民や事業者が、イベントやサークル、コミュニティビジネスなど活動の仲間を募り、地域が主体となる互助共助のための協働の仕組みを構築。エリアマネジメント形成を通じて住民や事業者の社会参画から生活支援、コミュニティ形成、地域価値向上の拠点や機能づくりを目指しています。



浦添市の経塚公園整備予定地を活用した公園利活用者のあおぞら会議



浦添市での公園活用のまちづくりの共創活動

廣常啓一氏は、新産業文化創出研究所（ICIC）の代表として、社会課題解決を軸に新市場を創出する活動を展開しています。調査・提言にとどまらず、事業化のシナリオ創りや伴走まで一貫して担う「アクティブシンクタンク」として共創型プロジェクトを全国で展開しています。